

Ⅱ. キャリア形成を軸とした総合人間科の取り組み

中学1年生

生き方を探るⅠ

～探しはじめよう、自分の未来を～

鈴木善晴・長瀬加代子
鈴木克彦・石川久美
直井誠

【抄録】 中学1年生では、本校の総合人間科の初年度ということもあり、これから6年間の基礎を学ぶ。「生き方を探るⅠ」の大テーマのもと、将来就くであろう職業について追究活動を行いながら、その過程の学習を一つひとつ丁寧に行った。

【キーワード】 総合人間科 生き方を探る 仕事 職業

1. はじめに

本校は六年一貫校であるが、中学1年生における次の進路選択は、高校の進路(科目)選択である。本校は、総合人間科などの取り組みを通して、自分の将来について考える機会があるが、残念ながら決まらないままその時を迎える生徒がいる。高校受験のない本校の中学1年生のこの時期に「仕事」「職業」について考えさせることによって、これからの学校生活で「職業」という視点を持つことができると考えた。

2. 目標

- ・身の回りの人や社会の様々な分野で活動する人の仕事(生き方)を知り、「なぜその職業を選んだのか」(価値観)を主な切り口に探究し、深く人を理解する姿勢を身につける。
- ・人の仕事(生き方)を手がかりに、これからの自分の人生の中で大切なものを発見する。
- ・総合人間科を学習するにあたっての基本的な学習技能の習得を目指す。

3. 学習方法と指導体制

- ・学習方法は、個人学習で行う。秋に行うフィールドワークを中心に調べ学習を行い、事前事後学習を通じて自ら学ぶ力を培う。
- ・指導体制は、学年5人による集団指導体制をとる。総合人間科係担当教員が年間指導計画に基づき、授業に使用するプリントを作成する。他の4人の教員が生徒20名ずつを担当し、個人指導を行う。総人担当教員が学年全体を掌握する。

4. 年間授業計画

中学1年生に懇切丁寧に指導すると隔週2時間の総合人間科の授業内では時間が足りず、生活、道徳、LT、ソーシャルライフを振り替えたり、国語の授業内で礼状書きや集録の書き方を指導することもあった。

第1回	4月14日(金)	オリエンテーション・保護者へインタビュー
第2回	4月27日(木)	友人へのインタビューとその紹介
第3回	5月18日(木)	『様々な職業の人からお話を聞きインタビューをしよう』インタビュー準備
第4回	5月22日(月)	『様々な職業の人からお話を聞きインタビューをしよう』送付用質問書き
第5回	5月25日(木)	『様々な職業の人からお話を聞きインタビューをしよう』質問内容の発表会
第6回	6月1日(木)	『様々な職業の人からお話を聞きインタビューをしよう』当日
第7回	6月29日(木)	職業に対して興味関心のあることを調べる①
第8回	7月6日(木)	職業に対して興味関心のあることを調べる②
第9回	9月7日(木)	F W準備①電話かけの下書き
第10回	9月14日(木)	F W準備②アポ取り
第11回	9月28日(木)	F W準備③アポ取り完了 and 質問事項
第12回	10月19日(木)	F W準備④依頼状完成
第13回	11月2日(木)	F W準備⑤個人研究(5限)F

		Wのやり方 (6限)
第14回	11月9日(木)	FW本番
第15回	11月13日(月)	国語で礼状書きの指導
第16回	11月16日(木)	FWまとめ 礼状書き
第17回	12月4日(月)	FW発表会準備
第18回	12月7日(木)	FW発表会
第19回	1月25日(木)	研究集録執筆①下書き1
第20回	2月8日(木)	研究集録執筆②下書き2
第21回	2月15日(木)	研究集録執筆③清書
第22回	2月22日(木)	中1が高3を囲んで話を聞く会
第23回	3月8日(木)	1年間のまとめ 小論文

5. 活動経過

(1)導入

①保護者へのインタビュー

第1回目の授業は保護者参観であった。保護者と生徒に対して総合人間科の導入を行うと共に、参加している保護者へのインタビューを行った。1回目は何も指導しないでインタビューを行い、2回目は礼儀など相手に対して失礼がなかったかを確認の後開始した。1回目生徒は礼儀のことなどは気づかずに行い、2回目は改善しながら行うことができた。

②友人へのインタビュー

クラスを2つに分け、4会場に分かれて行った。生徒はペアを作って、インタビューを行い、その質問した内容に従い相手を紹介した。

(2)『様々な職業の人からお話を聞きインタビューをしよう』

前半の主な取り組みである。生徒からインタビューをしたい職業、仕事のアンケートを取り、どのような職種を望んでいるかを調査した。今までは、保護者のボランティア活動や卒業生もインタビュー対象であったが、今年は職業に就いている人に限定した。各クラス複数回答可のアンケートだったので、約40種ぐらいの職業がアンケートから出てきたが、中学1年生と言うこともあり、目に見える一般的な職種が多かった。それをこちらで分類し、自動車、医者、警察官、弁護士、元航空会社、フリーデザイナーの6人に依頼し、生徒を振り分け、集団でインタビューを行った。

①インタビュー準備

希望の講座が決まったら、図書館やコンピュータ室で質問を考える。2時間かけてじっくり考えるようにした。生徒の気持ちは分かるのだが収入の質問ばかり目立つのでその指導が大変だった。送付用質問用紙を書くのに1時間かけて、先方へ送った。

②当日準備

個人のインタビューの準備ができたなら、次はそれを

生徒同士が発表し合い、各講座でのインタビューを確認し合った。生徒達はお互いの質問を聞くことにより、自分が気づけなかったことが気づいたり、論点整理ができた。生徒が講座を運営するので、司会、案内、記録、お礼の各係を集め指導した。

③当日

講師依頼時に、職業の話だけでなく、講師の方の自分史のようなことを語って欲しいことを強調して依頼した。そのことが良かったのかどの講師の方も職業選びの切っ掛けを語ってくれ、生徒はとても共感しながらお話を聞くことができた。特にデザイナーさんは紙芝居まで用意して下さり、熱の入ったお話に生徒は感激していた。

(3)職業に対して興味関心のあることを調べるレポート

夏休みまでの4時間ほどの時間と夏休みを使って、レポートの課題を課した。そのレポートは夏休み明けのフィールドワーク(以下:FW)につなげるものである。その職業を調べるにあたっての動機、基礎知識、準備、考察、参考文献などを書かせた。最後にそのレポートからFWへ行きたい場所を5カ所調べさせた。夏休みが開けてからが忙しく時間がないので、夏休み中に調べさせてとても良かった。

(4)FW

残りの月日をかけて生徒は個人活動でFWを行った。中学1年生なので一からすべてを教えていくと言う視点に立って行うことが大切であった。電話のかけ方一つ生徒は知らないで、しっかり時間をとって懇切丁寧に指導を行うことを心かけた。

①電話のかけ方

電話のかけ方をいきなりやっでできる生徒はほとんどいない。教えてもすぐにできるものではないので、生徒に下書きを書かせてから電話をかけさせる。「学校学年名前」「総合人間科」「自分の研究テーマの説明」「FWの依頼」「先方の部署などを聞く」とあげるとたくさんある。生徒は教員の指導を受けてから電話をかけ始める。

②アポ取り

電話のかけ方を学んだらすぐに電話かけを行った。しかし、FWは中1だけで行わないので、中2、高1とも相談し、FW先が重なっているところは教員同士が調整し合ってかけさせた。動物園や検察庁などで他学年との重なりがあった。

③依頼状書き

国語科教員の指導の元、依頼状の書き方の指導をした。生徒は見本を見ながら依頼状を完成させるのであるが、ポイントを押さえて素早くかける生徒は少ない。初めてのことなので依頼状の定型文を見ながら自

らのFW先に応じた依頼状が必要である。生徒はペンを使って一生懸命書いた。

④行程表

生徒の安全のため時刻表を使って細かな時間が入った行程表を書かせた。一人ひとり行く場所が違うので、行動を把握するために絶対必要である。今年は迷ったとか遅れる等といった生徒はいなかった。

⑤当日

直前の授業時にFWの最終的な注意点（10分前に到着、挨拶、メモの取り方、写真撮影の許諾など）を確認した。

当日教員はFW当日にいけない生徒を監督するだけで、あとは祈るばかりであった。

⑥礼状

FWに行って帰ってきたら感謝の意を込めて礼状を書いた。これも勉強一つである。国語科で書き方指導をしてもらった。やはり専門家に少しでも指導をしてもらおうと、他の教員もやりやすい。

⑦FW発表会

4班に分かれ、一人4分の持ち時間でFWの発表会を行った。生徒は発表することにより、自分のFWをまとめた。

⑧FWのまとめと研究集録

FWの発表など事後指導をしながら、こちらが用意したまとめの用紙を配った。これは研究集録の下書きとなるもので、できない者は、冬休みの宿題とした。

まとめには「1.はじめに」「2.フィールドワーク訪問先の概要」「3.研究内容」「4.まとめ」「5.今後の課題」の内容でまとめた。

研究集録は一人2ページで、ある程度の項目は指定するが内容は自由に書けるようにした。

(5)中1が高3を囲んで話を聞く会

当初時間がなく、今年はやらないでおこうかな、と思っていたら高3の生徒からは是非話をしたいとの申し出があり実現した。2時間連続の授業なので、5時間目高3が話し、次の時間20分インタビューをして終わりの予定だった。高3の生徒はこちらの想像以上に語り、予定時刻を過ぎてでも終わらず、中1を引き込んでいた。生徒の感想もあんな先輩になりたい、と言うものが多く、身近な目標ができたようであった。

6. 生徒の感想

①4月27日『友人へのインタビュー』感想より抜粋

- ・知らない人、知っている人でも意外な一面を知ることができお互い深まった。
- ・インタビューによって新しい友人を作ることができた。良いところを見つけることができた。
- ・一つ的话题を発展させる

- ・FWは難しそうだとこれを通じて予測した
- ・知っている人でももっと仲良くできてよかった
- ・「2分間」話すというのは長く感じた。忙しいとき「2分間」は短く感じるけど、今回は途中で話すことがなくなったりして、長く感じた

②6月1日『様々な職業の人からお話を聞きインタビューをしよう』より抜粋

- ・今日の話聞いて思ったことが2つありました。一つめは、仕事を選ぶ時に、まず自分の好きなことを考えて、それと関連していることの仕事につけられたいなと思いました。二つめは、部活でも勉強でも一番にこしたことはないけれど、多分良くても4、5番だなとおもった方が、実際にはもっと良い成績だったということもあるので、気楽にやればいいと思いました。

今日は自動車の話しも勉強になったのですが、これからのことなどでもとっても勉強になりました。

③小論文『総合人間科を通して考えたこと』より抜粋

- ・私の最初の総合人間科で考えたことをまとめると、自分の職業についてです。・・・今まで思い描いていた仕事は本当に自分にあっているのかなどです。なのでFWはとていい機会でした。今後、私が別の職業をしらべていっても今年の総合人間科の授業は役に立つと思います。だからこれからもこの授業を将来の自分に活かしていきたいです。
- ・最初、小体育館にあつめられて保護者へのインタビューをしたとき、緊張でしどろもどろ話をしていたのを思い出します。

あれから約一年がたちました。いまではみんなとうちとけ合い、将来の夢も少しずつ考えるようになってきました。

やはり、この一年で集中的にやった”職業を調べる”をやってみて自分の将来についても深く考えるようになりました。アポを取ったり、依頼状や礼状など初挑戦でドキドキして実際にいろいろな人に話を聞かせてもらい、様々な体験をしました。

最後に高3の人たちにこれからの生き方について話を聞いたときに、自分の進路を選ぶのにとっても苦労したとききました。いろんなことに興味をもち、たくさん迷って決めてからも納得できるか悩んだそうです。なにより、一番のアドバイスをくれたのは、やはり自分の親だといいます。時に反対し、助言をしながらも自分の考えを聞いてくれて、いっしょに悩んでくれる。これを聞いてやはり一番頼れる存在は親なんだと改めて思いました。

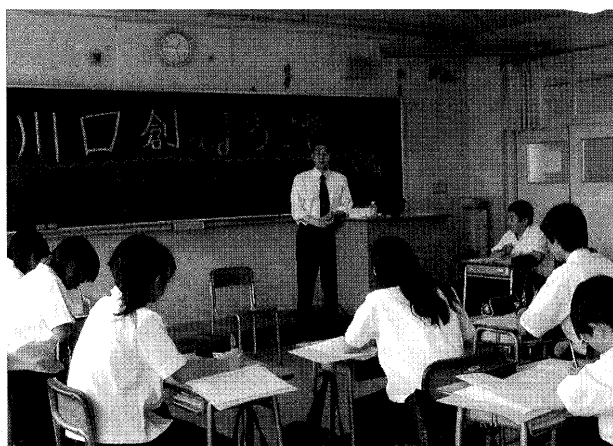
一年生のテーマだった“生き方”について少しは

知れたかなと思います。けれどまだ世の中には自分の知らない職業がたくさんあるので、それらをゆっくり時間をかけて自分にあうかみていきたいと思います。

の素晴らしい機会となっている。さらに推し進める必要があると確信した。

7. まとめ

- ・感想文などを読み返していて、今年特に重点においた「仕事」「職業」と言うことがどの生徒にも考えさせることができていた。高3の話の聞いたことにより、自分の将来像も描けるようになっていた。しかし、「まだ卒業まで5年間ある」と言うようなものが多く、担当者としては、高1の科目選択の時に将来像を描いて欲しいので少々不満はあるが、生徒の中に「仕事」「職業」ということが根付いただけでも価値のある一年であった。
- ・総合的な学習が見直されようとしているが、本校における総合人間科は、生徒を大きく成長させる一つ



フィールドワーク先一覧

テーマ	フィールドワーク先
鉄道事業の苦勞	名古屋鉄道 (株)
鉄道事業	名古屋鉄道 (株)
相手の満足を考えて・・・	日本航空インターナショナル 客室乗務員
動物を助ける仕事	パール動物病院
小学校教師とは	名古屋市立大坪小学校
ヘアメイクアーティスト	中部美容専門学校
保育園の先生にインタビュー	知立南保育園
テレビの仕事	中京テレビ
薬の専門家 ~病院薬剤師~	第二赤十字病院 薬剤部
弁護士 ~不利な状況を有利に変える~	佐藤綜合法律事務所
ナノテクの最先端に迫る!!	名古屋大学工学2号館ナノ テクマイクロマシン実験室
医療の現場	名古屋大学医学部小児外科
自分が感じた医療の現場	一宮市立市民病院
幼稚園教諭について	明星幼稚園
歌手への道♪	NOAヴォーカルアカデミー
情報を伝える	中京テレビ
通訳という職業	コングレ中部支社
薬剤師	鈴木薬局本店
広告マンになるには	デンツー (栄)

テーマ	フィールドワーク先
イラストレーターの仕事	鶴見千春
言葉をつなぐ	ハイテク情報センター名古屋
情報を伝える人	名古屋ビジュアルアーツ
CABIN ATTENDANT	日本航空インターナショナル 中部支店航務部
ことばのちから ~作家~	東海女子短大
獣医師	まさき動物院
気象と向き合う気象予報士	本山气象台
ShiSho in library	東図書館
樹木医	日本樹木医会愛知県支部
不正を正し人を守る	名古屋高等検察庁
町の身近な法律家 行政書士	小島行政書士事務所
中学校教員になるために	名古屋大学教育学部
歯科医師ノホントノトコロ	愛知学院大学大学院歯学研究科
環境を考える	東海技術センター
ラジオDJについて	名古屋アナウンス教室
薬剤師の現場	鈴木薬局本店
医学を知る	稲沢市民病院
アナウンサーへの道	名古屋テレビアナウンス部
ファッションデザイナーの仕事とは?	瀧定名古屋 (株) 人事課

医者として大切なこと	伊藤整形外科
機械の設計	産業技術記念館
美術の架け橋になる	古川美術館
教師への道のり	效範小学校
報道の裏	CBC（中部日本放送）
なりたい！キャビンアテンダント	ECCエアライン学院（金山校）
リスクマネージャー ～薬剤師の視点～	清水薬局
どうやったら弁護士になれるの??	名古屋第一法律事務所
薬剤師の仕事	緑調剤センター
弁護士の意外な一面！	名古屋第一法律事務所
正義を守る検察官	名古屋高等検察庁
猛火から町を救おう	中川消防署
報道記者について	中京テレビ視聴者センター
GH（グランドホステス）って大変だ!?	ECCエアライン学院（金山校）
飼育係への信頼	東山動植物園
海洋生物学者	名古屋大学農学部
治療を「つくる」	上飯田リハビリステーション病院
大学の研究者	名古屋大学医学部生命理学専攻
楽しさを伝える	[キュー]ミュージックラボ ギター課
小学校教師	露橋小学校
小学校教師という仕事	野並小学校
ウイルス研究者	名古屋大学医学部 ウイルス関係

生命を育む動物の飼育係	東山動植物園動物会館
知っておこう食のこと	日本食品分析センター
アソビゴコロノウラガワ	CBC（中部日本放送）
匠が行く	藤井建築空間設計
耳鼻科の医師	名古屋大学医学部 耳鼻咽喉科
ゲームを作る	トライデントコンピュータ専門学校
美術家／イラストレーター	フジイフランソワ事務所
Surgeon 外科医	竹内外科
介護プランをたてる	こもれびの里
スタイリストの仕事	名古屋デザイナー学院
教師と音楽	名古屋市立川名中学校
華麗なる教師の品格	名古屋大学教育学部
人の為になる仕事～インテリアコーディネーター～	松坂屋名古屋本店 インテリア関係
書物を司る仕事	北図書館
機械と理論のコラボレーション	名古屋大学工学部工学研究科航空宇宙工学専攻
空の華	中部国際空港航務部
動物達とのきずな	東山動植物園
保育士	新開保育園
人の命を守る仕事 航空管制官	中部国際空港管制塔

